



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社) 上場取引所 東  
 コード番号 5976 URL <https://www.k-neturen.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 大宮 克己  
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長(氏名) 篠原 秀明 (TEL) 03-3443-5441  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	13,975	0.1	394	45.6	679	21.3	374	35.3
2024年3月期第1四半期	13,962	0.3	270	△60.3	560	△45.8	276	△52.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,792百万円(113.8%) 2024年3月期第1四半期 838百万円(△61.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	10.37	—
2024年3月期第1四半期	7.37	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	81,285	66,829	74.1
2024年3月期	80,613	66,471	74.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 60,214百万円 2024年3月期 60,005百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	25.00	49.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	6.0	800	15.9	1,000	△15.4	500	△26.3	13.81
通期	62,000	8.4	2,000	22.5	2,600	3.5	1,600	3.7	44.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	37,138,900株	2024年3月期	37,138,900株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,253,323株	2024年3月期	934,883株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	36,077,072株	2024年3月期1Q	37,521,527株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績の改善や賃上げによる個人消費の持ち直しに対する期待など、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、エネルギー・原材料価格の高止まりや円安による物価上昇が続いていること、さらに地政学リスクの高まりや中国経済の減速懸念など依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは第16次中期経営計画「Aggressive Challenge One NETUREN 2026」（2024年4月より2027年3月までの3ヵ年計画）に掲げた4つの基本戦略である、

#### ①技術開発：成長ドライバーの創生

強化してきたマーケティング力に基づき、逆T字モデルを活用し、グループ間の力を柔軟に繋げて、新たな事業・新たな製品・新たな技術を創生する。

#### ②事業：成長エンジンの育成

これまでの現場力に新しい技術を繋げて、生産技術力を強化し、競争力を向上させるとともに、お客様により満足いただける製品・サービス・技術を提供する。

#### ③グローバル：グローバルマーケットの拡大

CO2削減・地球環境負荷低減に貢献する製品・サービス・技術を中心に、情報ネットワークを繋げて、未開拓地域も含めたグローバル市場の拡大を進める。

#### ④人財：自発的貢献意欲のある人財の育成

多様性を認め合い、常に前向きな思考で自発的貢献意欲のある人財の育成をさらに進め、各々の活躍をNetzrenグループ全体に繋げて、企業成長を加速する。

を推進することにより、企業価値の向上を図ってまいります。

また、収益向上のために受注拡大はもとより、高騰するコストの販売価格への転嫁を含む積極的な営業活動の実行とともに、徹底した原価低減活動を継続しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,975百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は394百万円(前年同期比45.6%増)、経常利益は679百万円(前年同期比21.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は374百万円(前年同期比35.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 製品事業部関連事業

土木・建築関連製品の売上高は、土木業界の低迷や建築業界の人手不足、建設資材高騰による工事遅延、着工遅れなどの影響が継続しておりますが、当社の高強度せん断補強筋が採用された建築案件が堅調に推移したこと、鋼材、電力費や輸送費などのコスト上昇分を販売価格へ転嫁したことなどにより、前年同期と比較し増加いたしました。また、自動車関連製品の高強度ばね鋼線の売上高は、国内では一部自動車メーカー等の出荷、生産停止からの挽回生産もあり堅調に推移しております。海外では中国の景気減速感が表われてきておりますが、北米、欧州を含めたグループ全体では前年同期と比較し増加いたしました。一方、建設機械関連製品の売上高は、国内、中国ともに建設市況低迷が継続しており、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は9,030百万円(前年同期比1.9%増)となりました。利益面では、建築業界向け製品において販売価格改定後の売上が後ろ倒しとなっておりますが、徐々に解消してきていることなどにより、営業利益は70百万円(前年同期は34百万円の営業損失)となりました。

#### ② IH事業部関連事業

熱処理受託加工関連の売上高は、自動車関連業界からの受注は堅調に推移いたしました。建設機械及び工作機械業界は主要顧客からの受注が低調に推移したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

誘導加熱装置関連の売上高は、堅調に推移しておりますが、売上予定であった装置の一部が第2四半期にずれ込んだ影響などにより、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は4,909百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は309百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

#### ③ その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であり、当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は35百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は13百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は81,285百万円(前連結会計年度末比0.8%増)となりました。この主な要因は、自己株式の取得や配当金の支払い等により現金及び預金が減少しましたが、仕掛品が増加したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は14,456百万円(前連結会計年度末比2.2%増)となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は66,829百万円(前連結会計年度末比0.5%増)となりました。この主な要因は、積極的な自己株式取得を実施したものの、円安により為替換算調整勘定が増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は74.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、「2024年3月期決算短信」(2024年5月9日)公表時点から修正は行っておりません。

なお、予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりません。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,904	14,337
受取手形、売掛金及び契約資産	12,707	12,118
電子記録債権	4,124	4,247
有価証券	276	281
商品及び製品	1,159	1,276
仕掛品	2,845	3,507
原材料及び貯蔵品	3,471	3,609
その他	1,430	2,212
貸倒引当金	△166	△170
流動資産合計	41,753	41,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,769	8,277
機械装置及び運搬具（純額）	5,888	5,861
土地	9,940	9,964
建設仮勘定	1,767	1,677
その他（純額）	702	710
有形固定資産合計	26,067	26,492
無形固定資産		
借地権	925	962
その他	102	108
無形固定資産合計	1,027	1,070
投資その他の資産		
投資有価証券	9,984	10,364
長期貸付金	18	18
退職給付に係る資産	0	-
その他	1,840	1,997
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	11,765	12,301
固定資産合計	38,860	39,865
資産合計	80,613	81,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,958	4,153
電子記録債務	4,149	3,863
短期借入金	670	669
未払法人税等	542	220
賞与引当金	685	396
役員賞与引当金	13	17
役員株式給付引当金	17	19
その他	2,756	3,561
流動負債合計	12,794	12,902
固定負債		
長期借入金	16	14
役員株式給付引当金	8	11
退職給付に係る負債	36	23
その他	1,287	1,504
固定負債合計	1,348	1,553
負債合計	14,142	14,456
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	1,725	1,725
利益剰余金	46,397	45,866
自己株式	△816	△1,163
株主資本合計	53,724	52,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,392	2,586
為替換算調整勘定	3,547	4,451
退職給付に係る調整累計額	341	331
その他の包括利益累計額合計	6,281	7,368
非支配株主持分	6,465	6,614
純資産合計	66,471	66,829
負債純資産合計	80,613	81,285

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	13,962	13,975
売上原価	11,661	11,394
売上総利益	2,300	2,580
販売費及び一般管理費	2,029	2,185
営業利益	270	394
営業外収益		
受取利息	10	21
受取配当金	128	125
持分法による投資利益	37	32
為替差益	41	65
その他	87	59
営業外収益合計	305	303
営業外費用		
支払利息	14	14
その他	2	4
営業外費用合計	16	18
経常利益	560	679
特別利益		
固定資産売却益	11	10
投資有価証券売却益	13	-
受取保険金	6	1
補助金収入	-	3
その他	0	0
特別利益合計	31	15
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	1	5
特別損失合計	1	5
税金等調整前四半期純利益	590	689
法人税等	222	227
四半期純利益	367	462
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	276	374
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	168
為替換算調整勘定	424	1,022
退職給付に係る調整額	△6	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△82	148
その他の包括利益合計	470	1,330
四半期包括利益	838	1,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	633	1,461
非支配株主に係る四半期包括利益	205	331



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,859	5,067	13,927	34	13,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3	3	—	3
計	8,859	5,071	13,930	34	13,965
セグメント利益又は損失(△)	△34	288	254	15	269

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	254
「その他」の区分の利益	15
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	270

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,030	4,909	13,939	35	13,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	7	7	—	7
計	9,030	4,917	13,947	35	13,982
セグメント利益	70	309	379	13	393

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	379
「その他」の区分の利益	13
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	394

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	548百万円	577百万円
のれんの償却額	—	—